

初めて蓄音器を聞いた時とすきなレコオド

宮本百合子

青空文庫

一、私が生れて始めて蓄音器と云うものを見聞いたのは、もう十四五年前、父が英国から土産に買って来たものでした。大きな銀色の朝顔型のラツパ、耳を澄ますと、スースー、スースーと云う針の音。小さい弟達と三人で、熱心にラツパを見つめ、今考えれば、さほど芸術的でもなかったらしい沢山の唄をききました。

二、パストラル・シムフォニー。オールドリフレーション。フィフス・シムフォニー。概してピアノや絃楽、交響楽を好んでききます。

〔一九二二年六月〕

青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集 第十七巻」新日本出版社

1981（昭和56）年3月20日初版発行

1986（昭和61）年3月20日第4刷発行

初出：「新家庭」

1922（大正11）年6月号

※「1初めて蓄音器を聞いた時、2わたしのすきなレコオド」は、
との問いへの答え。

※底本の「解題」（大森寿恵子）は、この作品名を「仮題」として
います。

入力：柴田卓治

校正：磐余彦

2003年9月15日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

初めて蓄音器を聞いた時とすきなレコオド

宮本百合子

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>